

ASNOVA

ASNOVA STATION
株式会社フットアップセンター
新規出店について

証券コード：9223

2025年2月28日

ASNOVA STATION（パートナーを通じた全国展開）

- 当社の直営拠点だけではレンタルサービスが行き届かないエリアにおいて、パートナー企業と連携したレンタル事業を展開。
- ASNOVAからパートナー企業に対して足場機材や商標・ノウハウを提供し、パートナー企業はエンドユーザーへ足場機材をレンタル。

ASNOVA
STATION

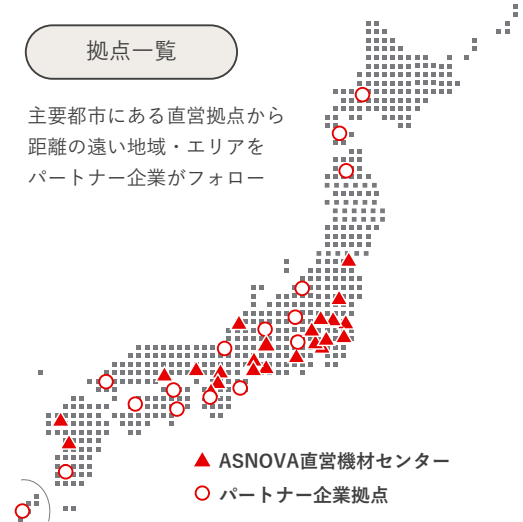
2022年10月 事業をローンチ

全国各地においても
「いつでも、近くで、安心して借りられる」を実現



拠点一覧

主要都市にある直営拠点から
距離の遠い地域・エリアを
パートナー企業がフォロー



新規出店地情報

- 和歌山県内初出店、阪和自動車道 海南東インターチェンジからも近く、好アクセス。
- 和歌山県全体に対応する拠点を構えることで、社会課題を解決する。

所在地 〒640-1167
和歌山県海南市九品寺579-1

オープン日 2025年2月28日

対応地域 和歌山県内

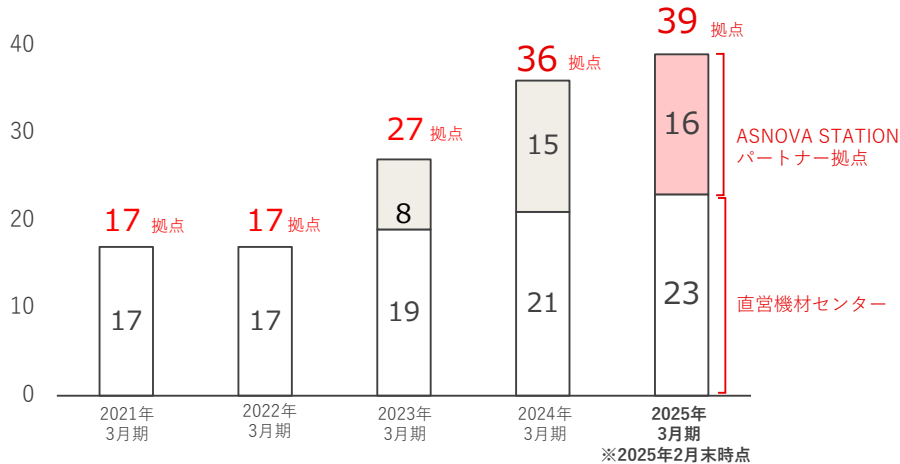


機材センター拠点の新規出店

- 顧客の利便性を追求し、足場レンタル需要の多いエリアに出店を行う。

■ 店舗展開拠点数

(拠点)



拠点一覧

主要都市にある直営拠点から
距離の遠い地域・エリアを
パートナー企業がフォロー



ASNOVAが目指す「循環型社会」とは

- 気候変動や資源不足などの社会課題に対処するため、モノを皆でシェアするというビジネスモデルへの転換が重要。
- 足場レンタルは「足場をシェアする」という循環型ビジネスであり、社会課題の解決にも貢献する。

これまでのビジネスモデル

- 大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とした「**直線型ビジネス**」

社会課題

- 気候変動や資源不足が世界レベルで深刻化
- 自然災害の急増により、家屋の損壊などが年々増加
- マンションをはじめとする建物の老朽化も問題に

価値観の変化

- SDGsに代表されるように、持続可能な社会への意識が高まる
- モノの所有に対する意識も変化。社会の共有財産として、必要となしに必要な量をシェア・レンタルする考え方が浸透

期待されるビジネスモデル

- モノを皆でシェアする「**循環型ビジネス**」への転換

